

月	行事	目的
4	進級オリエンテーション 入園の会 慣らし保育 父母の会総会 毎月のお誕生会 毎月の避難訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・在園児には、進級した喜びと新しい年の始まりを祝い、みんなで成長を喜び合う。 ・新しい担任と子どもとの出会い ・園児が新しい環境に慣れる ・新入園児の育ちを理解する ・入園を子どもや保護者と共に喜び合うことと子どもと保育士との出会い ・新入児を歓迎し、園の雰囲気や家族に知ってもらう ・初めて保育園に預ける保護者を安心させることを重視し、保育内容を説明。 ・父母の会総会をすることにより会の事業報告、計画を図る ・誕生児を祝う。子ども達が自分の思いを語り成長を喜ぶ会にする。 ・集団での避難訓練をする。おちついて避難できるように日頃から子ども達に伝える。
5	憲法記念日 みどりの日 子どもの日 親子ピクニック 母の日	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールデンウィーク休日の安全な過ごし方を伝える。 ・こいのぼりの日の由来を伝える ・子どもの日について触れ、知る ・こいのぼり掲揚をし、子どもの健全な成長を祈願する ・散歩コースを歩くことにより親子に散歩の意義を知ってもらう ・園の周辺、地域を知る ・親子レクなどを行うことによって家族同士の懇談を図る ・避難経路を知る ・母を敬い、感謝する
6	保育参加 時の日 慰霊の日 内科・歯科健診 父の日	<ul style="list-style-type: none"> ・保育参加などで保育園での姿を保護者が見て安心してもらうこと ・時間のことを考えながら、時計などの制作をする ・「沖縄戦」に触れ、「平和」について考える機会をもつ ・保護者に平和についての絵本を読んでもらい、平和について考える ・健診してもらい、保護者に子どもの健康について知らせる ・父を敬い、感謝する
7	七夕 海の日	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統行事を身近に感じられること ・七夕について触れ、知る
8	山の日・夏のあそび	<ul style="list-style-type: none"> ・山について知る ・プール、水遊びなど留意しながら、夏ならではの遊びをする
9	敬老の日 秋分の日	<ul style="list-style-type: none"> ・祖父母、高齢者を敬い、感謝する ・秋について触れる
10	スポーツデー 国際デー	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で運動を楽しむ、遊び方、ふれあいする方法などを知らせる ・親子で遊ぶ機会が減っている昨今なので、親子で遊ぶ機会にする ・子どもの成長を職員、保護者、関係者で見守り、喜び合う ・異文化について触れ、知る
11	文化の日 総合消防訓練 勤労感謝の日 七五三	<ul style="list-style-type: none"> ・文化の日について触れ、知る ・毎月実施している消防訓練の確認 ・働いている方々を敬い、感謝の念を持つ(地域交流もかねて、プレゼントをあげに行く) ・身近にいる働く人、お仕事について興味、関心を持つ及び知る ・七五三の由来を知る。3歳、5歳になったことをお祝いする。
12	ムーチャー クリスマス会	<ul style="list-style-type: none"> ・「鬼ムーチャー」の由来を知り、健康祈願のためにムーチャーづくりがあることを知らせる ・クリスマスの真の意味に触れ、知る ・冬支度を楽しむ

1	お正月 成人式 おたのしみ会 (年齢別のフェ ス)	<ul style="list-style-type: none"> ・新年を祝い、干支の話、お正月遊びなどをする ・成人式について知る ・友達と協力しながら練習を重ねた結果を保護者の方に見てもらい、達成感を感じる。 ・音楽や物語に親しむ。 ・子ども達の発達や興味に合わせた題材を選び気持ちを盛り上げながら練習に取り組む。 ・1年間の保育の集大成として保護者と共に子ども達の成長を喜べる機会にする
2	節分 建国の記念日 天皇誕生日	<ul style="list-style-type: none"> ・健康祈願で豆まき(新聞紙などを丸めた豆にみたてる)する。 ・節分という行事を知り、親しみを持つ ・日本の国について触れる
3	ひな祭り お別れの会 春分の日 新年度準備	<ul style="list-style-type: none"> ・日本に昔から伝わる行事(ひなまつり)に親しみを持つ ・成長を保護者と共に喜び合い、新たな門出を祝う ・子ども達の歌や保護者の思いを披露する ・春分の日について知る ・次年度、園児を円滑に迎え入れるための準備をする

誕生会

・誕生日を祝ってもらうことで、自分が大切な存在であることを実感する。

行事を楽しむ

- ・行事に向かって友達と協力し合い成功するという経験が子どもにとってかけがえのないものとなる。
- ・子どもにこんな経験をさせてあげたいという思いを大切に行事を計画していきたい。

保育園の行事は、「日常の保育」にメリハリをつける「重要な保育」。

- ・行事には、子どもの成長をわかりやすく目に見える形で保護者に伝えられる役割がある。
- ・子どもも保育者も保護者もみんなで楽しめる行事が、子どもの成長を促し、保護者が子育ての醍醐味を感じとれるように促し、保育に豊かさをもたらす。
- ・毎日の保育の延長線にあり、負担にならない行事を目指す。

① 「その時々の子どもの発達を見せる」役割

・園児の現在をありのままに様々な領域(切り口)における発達の状態を伝えていくことが保育園の行事の最大の意義

② 「親子のふれあいを促す(保護者の育ちを促す)役割

- ・保育園の行事がいろいろな形で親子のふれあいを促していく
- ・「子どもの何をどうみるのか」という親としての学びを実現するいい機会

③ 「地域の文化を伝承する」役割

・地域に受け継がれてきた伝統行事を子どもと保護者と共に伝えていく事

④ 「保育をさらに豊かにする」役割

- ・1つの家庭や個人レベルと人々の人生を彩るものが、子どもの成長を祝う生活行事
- ・日々の生活にスパイスを与え、メリハリをつけるものとして、重要な役割を担ってきている
- ・毎日の生活に節目を作り、生活をリズムよく活気づける
- ・保育という枠組みや保育施設の中だけの人間関係や発想では得られない広がりを地域との関係の中でつかんでいくことにより、保育に奥行と深みができるという意味で行事は保育をさらに豊かにする

伝統文化の価値

1. どの年代の人とも話ができる子になる
2. 多種多様な文化があることを知る
2. 世の中にはいろんな価値があることに気づく
3. アイデンティティーの確立に役立つ
3. 日本の歴史に興味を持つ
4. 礼儀作法が身に着く

飼育のねらい

「命の大切さに気付く」ための方法として

- ① 公園や身近にいる生き物を見る
- ② 手間がかりにくい、子ども達が飼育しやすい生き物を選んで飼育する
- ③ 体に変化するなど、みていて楽しい生き物を飼育する

上記を実施するために保育者が次のとおりする

(ア) 図鑑や本で調べよう (イ) 環境を整えよう (ウ) 生き物の特性を知ろう

菜園活動のねらい

- ・野菜について学ぶ
- ・種から植えたり、苗から植えたりすることで植物の成長を発見したり、楽しむ
- ・収穫した野菜の形状、断面図を確認し、野菜について知る
- ・クッキングして食してみる
- ・植物に触れる
- ・植物を育てる
- ・植物の名前を覚える
- ・植物を生けることで空間認知する
- ・丁寧に扱うことを学ぶ
- ・空間の雰囲気高め、心のやすらぎを提供
- ・花を通じて自然のエネルギーを感じる
- ・生ける過程で心を落ち着かせる
- ・季節感を感じる
- ・植物か感じる心の豊かさ癒し
- ・自然と向き合う

食育のねらい

- ・様々な経験を通じて「食」に関する知識を得る
- ・「食」を選択する力を習得する
- ・健全な食生活を実践する
- ・正しい食習慣と心身の健康
- ・食べ物を大切に感謝の心
- ・栄養バランスよくたべること
- ・食事のマナーをはじめとした社会性
- ・安全性や品質など食品を選択する能力
- ・食文化の理解

食育で育むこども像

- ・お腹がすくリズムのもてるこども
- ・食べたいもの、好きなものが増えるこども
- ・一緒に食べたい人がいるこども
- ・食事作り、準備に関わるこども
- ・食べ物を話題にするこども

英語で遊ぼうのねらい

- ・身近に異文化に触れる
- ・絵本の読みきかせ
- ・英語の音になれる
- ・リズムよく英語の歌などを歌う
- ・インターナショナルウィークを設けて多文化を知り、相互理解を促進する

アートセラピーのねらい

- ・自分という存在への理解を深める
- ・自己表現を通じて、確たる「自分」を形づくるプロセスの促進
- ・心の健康をサポート
- ・自由に自己表現できる場所を提供
- ・自由な表現を認め、自己肯定感が高まる関わり方をする

運動遊びのねらい

- ・体を動かすとうなるといった動作のイメージがもてるようになる
- ・「できた」という達成感が、遊びを繰り返す原動力となる
- ・1人で目標に向かって走る
- ・ボールをけて、前に飛ばす
- ・狙いを定めてボールを投げる
- ・少し高い場所からジャンプする
- ・全身の力で重たいものを押して進む
- ・引っ張る
- ・前転をする
- ・鉄棒に短い時間ぶら下がる
- ・障害をまたいで乗り越える
- ・リズムに合わせて、手足を動かす

- ・簡単なルールや身体の使い方を意識して遊びに向かう ・お友達と一緒に体をうごかすことを楽しく思う
- ・「もう1回やりたい」と感じた遊びを自分から繰り返す ・できたことは大人にしっかりと褒められ、達成感を感じる
- ・全体重をかけたり、指先を意識したりと、遊びに合わせた体の使い方を意識する

空手のねらい

- ・「礼に始まり、礼に終わる」 ・空手は護身術として研鑽されたため、稽古をとおして自らと向き合い、忍耐力や体力、精神力を磨くことこそが最大の目的 ・平和を愛する守礼の心を大切にし、武道として平和を希求する
- ・先人から脈々と受け継がれた「型」の習得に重点を置き、繰り返し稽古に励む ・「空手に先手なし」
- ・「人に打たれず、人打たず、事なきをもととするなり」 ・修行、鍛錬をとおして人としてのやさしさや思いやり、他人に対する気配り、謙虚さが自然と培われる

わらべ歌のねらい

- ・スキンシップや歌と聞く体験 ・手遊びを楽しみながら発語や自ら歌う体験
- ・対人関係やマナー、集団生活のルールなどを覚えるきっかけにもなる
- ・子どもの耳、心臓の鼓動、運動機能などに自然に働きかけて感性を呼び覚ます
- ・こどもの各機能の発達を促すことができるように昔の人の知恵が活かされているわらべ歌
- ・わらべうたは触覚や生命感覚、運動感覚、平衡感覚の成長を促す

園外保育のねらい

- ・ともだちと楽しい時間を過ごし、思い出をつくる ・外でおべんとうを食べる楽しさを感じる
- ・交通機関や公共の場でのマナーを学ぶ ・保育園以外の解放感の中で活動を楽しむ
- ・親子遠足では、保護者同士の親睦をはかる

散歩のねらい

- ・園外で季節や自然を感じる
- ・気分転換をする
- ・地域の人や環境と触れ合う
- ・交通ルールを理解する
- ・社会性を身に着ける

フェスのねらい

- **祝う・共有する場** ・非日常性がある
- 参加者同士の一体感を生む

・単なるイベントより「体験」や「場の空気」を重視するのが特徴